

1 所在地

〒036-8216 青森県弘前市大字在府町36番地

TEL 0172-32-3647

E-mail chouyou@hi-it.jp

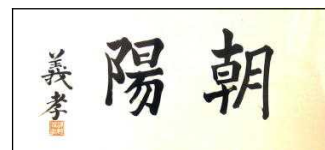


2 校名について

明治6（1873）年10月1日に弘前「一番小学」として創立された我が校は、その後「白銀小学」と改称されたが、明治11（1878）年7月3日の新校舎落成を機に、校名が「朝陽小学」と改称された。

この朝陽という名は、弘前城中にあった能楽堂の名前に由来する。幕末の三筆といわれた書家市河米庵（いちかわべいあん）によって揮毫された弘前城中の能楽堂の扁額「朝陽館」と、第九代藩主津軽寧親（つがるやすちか）公の「朝陽」の扁額を拝領したことから校名を定めた。

寧親公が書いた扁額は、残念ながら昭和24（1949）年の学校火災の際に消失した。そこで、昭和48（1978）年、創立百周年記念を機会に、校医の坪田繁樹氏を介して、津軽家十四代当主津軽義孝氏に『朝陽』及び『朝陽館』の書を依頼し、書いていただいたものである。



「朝陽」は、中国最古の字書『璽雅』に「山西日夕陽 山東日朝陽」と出てくる。「朝陽」は山の東側の意味で、朝の始まりに太陽を見ることができ、日がよく当たる所なので、「朝陽」が転じて「あさひ」「旭日」になったといわれている。

さらに、中国の古書『詩経』の大雅篇には、「鳳凰鳴矣 于彼高岡 梧桐生矣 于彼朝陽」とある。「世界を平和にする徳の高い天子が生まれる時には、朝陽が昇る東の丘に、突如、桐の林が生じ、鳳凰がやってきて、鳴き交わしながらそれを人々に告げる」という意味である。校歌の二番もこれを受けて作られており、朝日が輝くようなすばらしい学校に、徳の高い人間が育ってほしいという願いと、明治という近代日本の夜明けを告げる朝陽として、時代を切り開いていく人物が育ってほしいという願いが校名にあると考えてよい。

◎ 市河 米庵（いちかわ べいあん）

1779～1857。江戸時代末期の著名な書家。

◎ 図書室の額『梧桐生彼朝陽』（金澤隆 元市長書）について

出典は、中国最古の詩集といわれる『詩経』の大雅。

「鳳凰鳴く 彼の高岡（こうこう）に

梧桐（ごとう）生ず 彼の朝陽に」から

鳳凰が高い山の背で鳴いている。鳳凰のとまる梧桐（おおぎり）は、朝陽の当たる日うけのよい処に生えている。「梧桐生ずとは、なお明君の出ずるがごときなり。山の東を朝陽という。朝陽に生ずとは、温仁の気を被る。亦明徳なり。（鄭箋）」



☞ 鳳凰は、霊泉（れいせん。醴泉。甘い泉の水）だけを飲み、60～120年に一度だけ実を結ぶという竹の実のみを食物とし、梧桐の木にしか止まらないという。『詩経』には「鳳凰鳴けり、彼の高き岡に。梧桐生ず、彼の朝陽に。」とある。

☞ 梧桐（おおぎり）は、アオギリ科の落葉高木。葉が桐に似ていて、樹皮が緑なので、青桐（おおぎり）といわれる。梧桐は中国名。亜熱帯地域に自生するが日本でも街路樹として植えられている。

3 校歌・校章

(1) 校歌について

本校の校歌は、大正5(1916)年4月14日に青森県知事を経て、文部省へ制定の認可を求め、大正6(1917)年2月7日に至って、ようやく認可の旨の指示があった。弘前市内小学校における校歌制定の最初であり、県内では八戸市立小中野小学校に次いで二番目と言われている。平成12(2000)年に「近代唱歌集成」の儀式的唱歌に全国でただ一校取り上げられた校歌である。

作詞の田名部彦一氏は、明治3(1870)年、弘前市禰宜町に生まれ、明治24(1891)年、青森師範学校本科卒業後、東京師範学校に学び、国文、歴史を修めた。卒業後、青森師範学校、富山師範学校で教鞭をとり、明治39(1906)年、奈良師範学校長に任じられた。『奈良県史』、『大和人物史』の編纂に従事、辞職後は弘前市に戻り、朝陽小学校の求めに応じて作詞することとなった。大正8(1919)年死去、享年51歳であった。

作曲の楠美恩三郎氏は、明治元(1868)年、中津軽郡清水村富田(現弘前市)に生まれ、東奥義塾を経て、明治16(1883)年、青森師範学校弘前分校初等師範科卒業。楠美家は、平家琵琶伝承の家柄であったが、その血を引いてか音楽に堪能で、東京音楽学校を卒業後、香川、京都の師範学校を経て、東京音楽学校教授となった。文部省唱歌編纂に携わり、校歌作曲を多数手がけた。仙台二校、青森師範学校の校歌など、いまだに愛唱されている名曲が多い。昭和2(1927)年死去。享年60歳であった。

～ 校歌の意味 ～

一 わがすむ里の ひろききに
まなびの園は 多けれど
春まずしむる 梅の花
薫りし庭は ここぞかし

二 豊栄上る 朝陽の
桐のはやしに 鳳なきて
世にもまれなる ほまれぐさ
摘むべき庭は ここぞかし

三 歴史のあとを 鑑とし
教えの光 身にそえて
雲にそびゆる 岩木山
高いいさおを 世にたてん

1番では、子どもたちを梅の花に例えている。

わたしたちが住む町の弘前には、子どもたちが学ぶ学校はたくさんあるけれど、春一番に季節を飾り、心を明るくする梅の花が、かぐわしく香っている庭は、ここ朝陽小学校だけである。

2番では、子どもたちを「あさひ」と「ほまれ草」に例えている。

中国の伝説のように、朝日がきらきら輝いて昇る朝陽小学校のある東の丘には、青桐の林ができ、鳳凰という鳥が来て鳴いている。そういうことが起こると、世の中を明るく幸せにする人が生まれると言われている。将来、人々が驚くような、人々の役に立つ素晴らしい子どもたちを、いっぱい見つけることができるのは、この朝陽小学校である。

3番では、子どもたちを将来像として「岩木山」に例えている。

日本や世界の優れた人や朝陽小学校の先輩をお手本にして、学んだ勉強や学問をしっかり身に付けて、雲を突き破ってそびえる岩木山のように、立派な仕事や手柄を人々のために役立てる人になろう。

※『朝陽小学校校歌の意味性や願い』工藤 浩司 元校長(在任期間：平成12年4月～16年3月)の解説を基に再構成。

(2) 校章について



大正12(1923)年、本校が創立50周年を迎えた記念に校章を制定することになり、県立弘前工業高等学校に依頼した。翌13(1924)年3月11日製作が完了し、正式に使用することとなった。

製作者は、当時県立弘前工業高等学校教諭の橋本良雄氏で、本居宣長(1730～1801。江戸時代中期の国学者)の和歌「敷島の大和心を人問はば 朝日に匂ふ山桜花」から、花は弘前公園の桜を、朝の文字は朝日を表す朝陽の朝を、桜の周囲の光は朝陽の輝きで、本校に学ぶ子どもたちの希望を表している。

4 学校沿革の概要

- 明治 6. 10. 1 本町一丁目32番地に**一番小学**として創立。本市小学校の初めをなす
7. 2. 1 上白銀町1番地に移転。校名を**白銀小学**と称する
11. 7. 3 本町2番地に校舎新築落成。**朝陽小学**と改称する
15. 1 **朝陽小学校**と称して、初等科・中等科に編成する
- 20 **中津軽郡朝陽尋常小学校**と改称する
22. 6. 20 市制施行に伴い、弘前市朝陽尋常**小学校**と称する
32. 9. 25 新校舎竣工。同28日落成式举行
- 大正 6. 2. 7 文部省から校歌の許可がでる
- 昭和10. 10. 21 在府町5番地に新校舎竣工
16. 4. 1 国民学校令に基づき、**青森県弘前市朝陽国民学校**と称する
21. 4. 1 **青森師範学校附属国民学校**となる
22. 4. 1 校舎を青森医学専門学校に譲渡し、本町2番地旧校舎に移る
六・三制の発足により、青森師範学校附属小学校と改称する
23. 4. 1 **弘前市立朝陽小学校**として復興する
24. 4. 1 学区を二分し桔梗野に一校を創設し、本校を**第一朝陽小学校**と改称する
9. 1 校名を旧に復し、**弘前市立朝陽小学校**と改める
10. 23 火災に罹り校舎を全焼する
26. 12. 25 在府町36番地に校舎新築竣工25日に移転。昭和27年1月14日落成式举行
27. 11. 21 子ども相互銀行が大蔵大臣・日本銀行総裁より表彰される
28. 10. 1 創立80周年記念式典举行
29. 4. 1 市内小学校より募集編成の弘前市立特殊学級1学級を開設する(昭和33年3月まで)
37. 4. 1 特殊学級1学級を開設する
38. 4. 1 特殊学級1学級を増設し、2学級となる
7. 22 創立90周年記念事業プール完成修祓式举行
10. 1 創立90周年記念式典を举行。鎌田記念会館修祓式
42. 5. 10 鎌田記念会館前に清明園の石を配置する
9. 18 北中庭の石庭完成(緑化1年度)
43. 10. 9 南中庭、花壇完成(緑化2年度)
44. 11. 27 南側観察園完成(緑化事業完了)
48. 1. 26 学区内篤志家の寄贈により1学年3教室及び体育館入口廊下に水道施設完了
6. 15 創立100周年記念プール浄化装置完成
10. 1 創立100周年記念式典、祝賀会、併催表示開催
中庭濾過装置一式、PTAより寄贈される
52. 8. 5 津軽一円を襲った集中豪雨により水害発生し、本校が避難場所となる
本校の被害児童53名
53. 3. 9 佐藤紅緑先生「希望の碑」完成除幕式举行
10. 1 佐藤紅緑先生碑の案内板設置
58. 5. 26 日本海中部地震のため、校舎・校具に若干の被害を受ける
10. 1 創立110周年記念式典・祝賀会を行い、PTA「朝陽」合本集刊行
59. 11. 7 東奥信用金庫茂森支店より津軽塗印籠文庫寄贈される
60. 8. 30 校舎改築促進のため期成同盟会結成発足総会を開く
11. 19 旧柴田幼稚園跡地が校地として本校に引き渡される
61. 3. 5 校舎改築地質調査始まる
6. 5 道路拡張工事始まる(秋田屋本館通り)
7. 6 校舎増築工事着工
11. 4 朝陽小学校子ども銀行青森県貯蓄推進委員会会長賞受賞。みちのく銀行より感謝状を受ける
6. 30 新校舎竣工(体育館を除く)

- 62. 7. 11 新校舎移転完了
- 7. 22 旧校舎解体工事開始
- 6. 30 屋内運動場工事完了
- 63. 9. 30 プール及び校庭整地完了
- 10. 1 改築落成記念式典挙行。校庭に防球ネット同窓会より寄贈
- 平成元. 5. 9 校庭の上手芝生張りつけ・土砂入れ替え・鉄棒取付完了
- 6. 4 校庭竣工修祓式
- 2. 11. 17 体育館裏に地下防火水槽設置。掘った土でスキー山造成
- 9. 28 台風19号により、体育館軒及び防球ネットに被害。臨時休校となる
- 5. 7. 12 北海道南西沖地震により三階送水管に亀裂。水漏れ発生
- 9. 20 校歌額取り付け（平成4年度卒業生、協賛会より）
- 9. 25 創立120周年記念ねふた運行
- 9. 30 創立120周年記念式典。協賛会より新校旗等寄贈。
- 6. 3. 9 旧校旗額取り付け（平成5年度卒業生より）
- 7. 1. 20 児童会が中心となり、阪神大震災の募金を行う（約10万円）
- 9. 30 国旗掲揚塔移転工事完了
- 8. 8. 12 校庭排水工事完了
- 9. 3. 7 境界土塁工事完了
- 4. 14 弘大医学部附属病院で院内学級（病弱）開設・開級式。たんぼぼ学級開設時在籍4名
- 10. 1. 28 交通安全教育全国表彰を受ける（3ヵ年指定）
- 4. 1 弘前市福祉協力校の指定を受ける（3ヵ年指定）
- 6. 19 体育館ステージ幕P T Aより寄贈される
- 11. 11. 26 野球部部室寄贈。11年度野球部後援会会長 下山清司氏より
- 12. 5. 8 花壇整備工事～9日
- 6. 2 クロス張り替え工事～4日
- 6. 21 野球部ベンチ工事、鉄棒移設
- 9. 6 職員室へのパソコン（Hi-it端末）設置
- 9. 13 プレハブ小屋設置
- 12. 23 ミニバス東北大会敢闘賞
- 13. 2. 6 ワークスペースへ本棚設置（平成12年度卒業生より寄贈）
- 9. 1 読書ボランティア『読書おすすめ隊』発足式
- 14. 1. 8 卓球台1台寄贈（猪股英則氏より）
- 3. 20 ミニサッカーゴール（平成12年度卒業生より寄贈）
- 3. 30 校舎東側にラベンダー植樹（町田芳文氏より寄贈）
- 5. 14 千葉県八街市立朝陽小学校と『兄弟姉妹締結書』を交わし、交流を開始
- 7. 13 保護者ボランティア『夕陽の会』発足懇話会
- 9. 6 小連体参加するが2年続きの悪天候により中止
- 10. 2 台風接近により臨時休業
- 15. 2. 5 校庭にスキー山完成（玉田亮平氏）
- 10 130周年記念事業協賛会設立総会
- 25 父母と教師の会生活環境改善模範団体県知事表彰

平成15年度 学級数13(特支学級1を含む) 児童数299名 職員数23名

- 15. 4. 2 第2図書室カーペット敷き（130周年記念事業）
- 6 朝陽野球スポーツ少年団（朝陽フェニックス）発団式
- 5. 12 130周年看板設置（葛西塗装より寄贈）
- 18 130周年記念運動会
- 6. 6 130周年航空写真撮影
- 8. 5 130周年ねふた合同運行
- 9. 26 130周年記念演奏会（多田あつし氏）

- 28 130周年記念式典・祝賀会
- 10.10 130周年記念マラソン大会
- 10.12 130周年記念招待野球
- 11.14 千葉県八街市立朝陽小学校120周年記念式典参加
- 16. 3.13 130周年記念ミニバス朝陽カップ

平成16年度 学級数13(特支学級 1 を含む) 児童数309名 職員数23名

- 16. 4.23 りんご「朝陽」接ぎ木(工藤 貴久 氏)
- 6. 2 初めての「不審者対策避難訓練」実施
- 9. 1 台風16号接近のため臨時休校
130周年記念石碑説明板取り付け
台風18号接近のため10時出校(防砂ネット破損)
- 11.27 早朝の強風により、サクラの木の枝が折れる防砂ネットの破れ広がる
- 17. 3. 2 同窓会入会式の最中、体育館の屋根雪落下。壁及び外灯破損
- 14 体育館外壁修理

平成17年度 学級数12(特支学級 1 を含む) 児童数299名 職員数23名

- 17. 4.20 豪雪による体育館壁面と鉄棒の補修工事終了
- 18. 1.21 地区連合町会長会議で防犯パトロール隊結成の協力要請
- 26 体育館外壁、落雪のため破損(2年連続の大雪)

平成18年度 学級数12(特支学級 1 を含む) 児童数289名 職員数22名

- 5. 2 「教職員の人材育成・評価制度」始まる(試行)
- 6.28 鉄棒新設工事(旧鉄棒撤去)
- 8. 9 校庭南側の立木(桜・イチョウ等)の枝払い実施
- 11.15 「新弘前市合併」合併記念式典(弘前市市民会館)
- 17 朝陽小学校父母と教師の会文部科学大臣表彰(東京)
- 12.13 千葉県八街市立朝陽小学校へりんご7箱発送

平成19年度 学級数12(特支学級 2 を含む) 児童数276名 職員数22名

- 8.17 八街市立朝陽小学校へ交流旅行～22日
- 9. 7 小連体台風接近と雨のため中止
- 11.10 学習発表会麻しんのため延期

平成20年度 学級数11(特支学級 2 を含む) 児童数255名 職員数22名

- 10.17 体育館強化ガラス入れ替え完了
- 21. 1. 8 児童・職員の下足箱設置

平成21年度 学級数11(特支学級 3 を含む) 児童数240名 職員数19名

- 6. 5 5年宿泊学習を岩木青少年スポーツセンターで実施
- 9.17 全校遠足(岩木青少年スポーツセンター)
- 25 P T A主催バザーは新型インフルエンザのため、規模を縮小して実施
- 11. 5 「朝陽小りんごを食べる日」を夕陽の会が初めて実施
- 7 学習発表会は新型インフルエンザのため中止
- 22. 2.10 スキー教室実施、雪上運動会は中止(授業時数確保のため)

平成22年度 学級数10(特支学級 3 を含む) 児童数217名 職員数19名

- 22. 5.17 「子ども安全支援隊」発足式
- 6. 7 ドリームタイム①「今 弘前城があぶない！」知坂 元 氏
- 9. 8 ドリームタイム②「がんばれ！トンボたち」村田孝嗣 氏

- 11. 1 学習発表会
- 12. 9 ドリームタイム③「夢の甲子園！」下山孝太 氏
- 23. 2.16 ドリームタイム④「夢のパティシエール」安田浩子 氏
- 3.11 東日本大震災14:46 停電により集団下校
- 3.12 午前6:30には本校の電気復旧
- 3.14 大地震による臨時休業

平成23年度 学級数9(特支学級2を含む) 児童数197名 職員数18名

- 23. 4. 7 午後11:40地震後停電
- 8 児童出校後、午前で集団下校。給食中止。10:00に電気復旧
- 5.18 子ども安全支援隊結団式
- 6. 3 ドリームタイム①「来たれ！若き力 正義の心」中央交番警察官2名
- 7. 7 ドリームタイム②「集団行動と第2制定体操」弘前実業高校スポーツ科学科学生37名による演技と指導
- 9. 7 ドリームタイム③「夢の力」齋藤春香 氏
- 24. 2.15 ドリームタイム④「わたしの朝陽小学校～なつかしいあの日あの時」佐藤圭一郎氏

平成24年度 学級数9(特支学級3を含む) 児童数173名 職員数18名

- 6. 4 ドリームタイム①「りんごを通じて伝えたいこと」工藤貴久 氏
- 20 台風4号接近のため午前授業
- 10. 1 創立記念日(139周年) 台風17号接近のため臨時休業
- 2 ドリームタイム②「ミクロの世界からのメッセージ」野田公俊 氏
- 14 ドリームタイム③「白神山地 自然と人々」牧田 肇 氏
- 25. 1.11 創立140周年記念事業協賛会設立総会

平成25年度 学級数9(特支学級3を含む) 児童数170名 職員数21名

- 5.22 創立140周年記念看板設置
- 26 創立140周年記念大運動会
- 6. 5 ドリームタイム① (講師：本校校長 竹内 史宗 氏)
- 21 『卒業生パネルディスカッション』
- 25 創立140周年記念電動暗幕設置
- 29 1階非常口外板パネル塗装
- 8.24 創立140周年記念ねぷた運行
- 9. 5 140周年記念児童用図書の寄贈
- 17 体育館外壁破損修理
- 29 創立140周年記念式典 表彰式 祝賀会
- 10. 1 創立記念日(140周年) 振替休業日
- 11. 6 防災行政無線施設整備工事～3月
- 11 租税教育表彰
- 12.13 ドリームタイム②(講師：聖愛高等学校硬式野球部 原田一範 監督 一戸将 選手 宇庭昭太郎 選手)
- 26. 1.18 創立140周年記念事業協賛会解散会・懇親会

平成26年度 学級数9(特支学級3を含む) 児童数171名 職員数20名

- 4.14 百葉箱設置
- 6.23 ドリームタイム①(講師：今 京節 氏)
- 9 太陽光発電施設整備
(平成26年度朝陽小学校再生可能エネルギー等導入設備工事)～12月5日
- 10.14 台風19号による臨時休校
- 11.12 ドリームタイム②(講師：弘前観光ボランティアガイドの会会長 中谷 敏右 氏)

18 小学校防犯カメラ設置工事～平成27年3月25日

平成27年度 学級数9(特支学級3を含む) 児童数173名 職員数22名

- 5.21 体育館側駐車場(碎石による)整地工事
- 6.15 ドリームタイム①(講師:弘前市文化スポーツ振興課主査 今関 勝 氏)
ひまわり学級(自閉症・情緒)児童転出のため閉級:教室は学習室へ
- 7. 1 屋内運動場非構造部材落下防止対策工事～8月31日
- 9. 1 ドリームタイム②(講師:朝日新聞社会部専門記者 中山 由美 氏)
25 6年弘前城天守曳屋工事現場見学会
- 12. 5 スポーツ少年団野球のプレハブ小屋老朽化の為、物品をスキー小屋2階へ移動
9 『ペットボトルキャップ回収事業に関する感謝状』受賞
PTA寄贈(昭和55年)の佐藤紅緑看板土台改修工事
- 11 ドリームタイム③(講師:スポネット弘前理事 鹿内 葵 氏)
- 17 携帯型防災行政無線を職員室に配備
- 28.2.16 保健室・相談室・職員室へ遮光レースカーテン設置

平成28年度 学級数9(特支学級3を含む) 児童数165名 職員数21名

- 4.12 東邦設備工業所より安全傘100本寄贈
- 6.14 ドリームタイム①(講師:山観普門院住職 白澤 雪俊 氏)
- 8.18 グラウンド東側にスキー山造成
- 11.10 小学生雑紙回収チャレンジ優秀校表彰
- 12. 8 ドリームタイム②(講師:豊職員 千嶋 直人 氏)
- 17 携帯型防災行政無線を職員室に配備

平成29年度 学級数9(特支学級3を含む) 児童数162名 職員数20名

- 6.14 ドリームタイム①(講師:JICA 東北支部長 小野 修司 氏)
- 8. 7 PTAより各普通教室に天井付扇風機2台ずつ設置
- 12. 7 ドリームタイム②(講師:弘前市博物館学芸員 棟方 隆仁 氏)
- 30. 2.14 インフルエンザ流行のため延期していた5・6年スキー教室を実施(青森スプリングスキーリゾート)
- 2.20 普通教室カーテン遮光カーテン取替

平成30年度 学級数9(特支学級3を含む) 児童数154名 職員数19名

- 5.19 雨天のため、体育館にて運動会を体育館で実施
- 6.12 ドリームタイム①(講師:津軽三味線奏者 多田 あつし 氏)
- 10. 1 台風接近にかかる措置として、弘前市内全小中学校が臨時休校
- 12. 6 ドリームタイム②(講師:弘前市教育委員会指導主事 小笠原 恭史 氏)
- 31. 3.27 教室棟の各トイレの遮光カーテン取替
- 3.27 新寺町児童館老朽化に伴い取り壊しとなったため、本校校舎内になかよし会を設置

平成31年・令和元年度 学級数9(特支学級3を含む) 児童数154名 職員数17名

- 4.27 弘前市健康教育研究委託事業研究指定校となる～平成31年度・令和2年度～
- R1 5. 1 新元号「令和」となる
- 6.11 ドリームタイム①(講師:弘前市役所公園緑地課 桜守 海老名 雄次 氏)
- 10.29 日本テレビ系列「秘密のケンミンSHOW」より、3年りんご学習についてテレビ取材あり(放映日は12/12[木]21:00)
- 11.22 ドリームタイム②(講師:弘前大学教育学部特任助教 齋藤 厚 氏)
- R2 1.22 各教室及び音楽室エアコン設置に係る工事開始～R2.3.25設置工事完了
- 3. 2 新型コロナウイルス感染症対策のため、市教委の通知を受け以下の措置をとった
・3/3(火)～3/25(水)までを臨時休校とする

- ・3/17(火), 3/25(水)を出校日とした
- 3.20 卒業証書授与式 新型コロナウイルス感染症対策のため, 卒業生, 卒業生保護者及び職員のみでの参加で実施
- 3.25 修了式及び離任式, 1～5年生へ後期通知表配付
新型コロナウイルス感染症対策のため, 修了式は放送で行った
- 3.26 難聴学級設置に伴う教室移動のため, 新4年教室へエアコン設置工事開始
～R2.3.30設置工事完了

令和2年度 学級数10(特支学級4を含む) 児童数151名 職員数20名

- 4.1 難聴学級(サポートルーム3)開設
- 4.25 新型コロナウイルス感染症予防対策のため臨時休業～5.6
- 5.9 新型コロナウイルス感染症予防対策のため臨時休業～5.17
- 6.1 エアコン稼働式(市長, 市議会議員, 教育長来校)
- 7.10 学校保健委員会(講師 東北女子大学 前田朝美准教授)
- 8.29 トイレ洋式化工事～11.4
- 9.18 ドリームタイム①(講師 東北女子大学 前田朝美准教授)
- 10.1 創立記念日(147周年)ミニ運動会[マラソン記録会]
- 10.16 学習発表会(1・2年)[低・中・高学年の3回で分散開催]
- 10.19 新型コロナウイルス感染症予防対策のため臨時休業～11.1
- 11.12 市指定健康教育研究事業公開研究会開催
2・4年食育授業公開, 実践発表, 講演(講師 弘前大学医学研究科 中路 重之特任教授)
- 12.9 学習発表会(3・4年)
- 12.15 学習発表会(5・6年)
- 12.16 ドリームタイム②(講師 弘前大学 齋藤厚特任助教)
- 1.29 5・6年スキー教室(青森スプリングリゾート)
- 3.19 卒業証書授与式 新型コロナウイルス感染症予防対策のため, 卒業生, 5年生, 卒業生保護者, 学校運営協議会委員及び職員の参加で実施

令和3年度 学級数10(特支学級4を含む) 児童数163名 職員数19名

- 5.15 運動会実施(午前日程)
- 5.27 全国学力学習状況調査6年
- 6.17 学校保健委員会(講師 公立七戸病院長 小野 正人氏)
- 10.1 創立記念日(148周年)マラソン記録会
- 10.5 あさひニコニコデー(弘前公園へ全校遠足, 午前中は縦割り班でオリエンテーリング)
- 10.6 第67回東北地区国語教育研究協議会弘前大会「書くこと」分科会4年提案授業会場
- 10.15 学習発表会(1・2年)[低・中・高学年の3回で分散開催]
- 10.18 学習発表会(3・4年)
- 10.19 三味線クラブ発表(全校朝会時)
- 10.20 学習発表会(5・6年)
- 10.23 四中学区小学生陸上交流会 弘前市運動公園 5年3名1,500mに参加
- 10.28 音楽鑑賞教室 青森県警察音楽隊
- 11.12 ドリームタイム(講師 元校長 齋藤 厚氏)
- 3.18 卒業証書授与式 新型コロナウイルス感染症予防対策のため, 卒業生, 卒業生保護者, 学校運営協議会委員及び職員の参加で実施

5 歴代校長

教員長	三 上 徳之助	明治14. 12	～	明15. 6
〃	田 澤 保次郎	明17. 3	～	明18. 6
〃	浅 井 次 郎	明18. 6	～	明18. 9
初代	蒲 田 廣	明18. 9	～	明18. 11
2代	三 上 徳之助	明18. 11	～	明19. 4
3代	蒲 田 廣	明19. 5	～	明20. 2
4代	佐 田 正之丞	明20. 2	～	明22. 4
5代	森 健 枝	明22. 4	～	明29. 11
6代	赤 平 良 輔	明30. 3	～	明39. 12
7代	八木橋 平 馬	明39. 12	～	明45. 3
8代	工 藤 栄 二	明45. 4	～	大正 4. 3
9代	成 田 健 夫	大 4. 3	～	大 6. 3
10代	三 上 壽 吉	大 6. 3	～	大 8. 3
11代	三 上 虎 雄	大 8. 3	～	大13. 12
12代	白 取 清 一	大13. 12	～	昭和 3. 8
13代	島 口 省 三	昭 3. 8	～	昭 5. 9
14代	中 田 潔	昭 5. 9	～	昭 9. 5
15代	神 栄 造	昭 9. 5	～	昭16. 3
16代	土 屋 直 好	昭16. 3	～	昭19. 3
17代	川 村 卯 作	昭19. 3	～	昭21. 3
18代	黒 瀧 六 郎	昭23. 3	～	昭27. 4
19代	阿 保 恂 二	昭27. 4	～	昭30. 1
20代	赤 石 國 雄	昭30. 4	～	昭36. 3
21代	赤 平 小 吉	昭36. 4	～	昭41. 4
22代	蒔 苗 忠 男	昭41. 4	～	昭45. 1
23代	工 藤 為 弥	昭45. 4	～	昭51. 4
24代	山 上 晋	昭51. 4	～	昭54. 4
25代	長 尾 光 明	昭54. 4	～	昭59. 3
26代	白 戸 喜久蔵	昭59. 4	～	昭60. 4
27代	原 道 哉	昭60. 4	～	平成 2. 3
28代	小田桐 弘	平 2. 4	～	平 2. 7
29代	佐 藤 繁	平 2. 8	～	平 5. 3
30代	長 尾 幸 治	平 5. 4	～	平 8. 3
31代	松 木 秀 男	平 8. 4	～	平10. 3
32代	岩 見 禎 二	平10. 4	～	平12. 3
33代	工 藤 浩 司	平12. 4	～	平16. 3
34代	桑 田 眞	平16. 4	～	平20. 3
35代	齋 藤 厚	平20. 4	～	平23. 3
36代	知 坂 元	平23. 4	～	平24. 3
37代	竹 内 史 宗	平24. 4	～	平27. 3
38代	工 藤 雅 哉	平27. 4	～	平31. 3
39代	齋 藤 昭	平31. 4	～	令 4. 3
40代	山 本 正 弘	令 4. 4	～	